「原著」「資料」「展望」の各論文の執筆・投稿の仕方

1. 本誌に投稿される論文は，高齢者を対象とした，あるいは，関連した内容のものであり，行動科学的な観点から書かれた未発表のものに限ります。他の学会誌に同一の内容を重ねて投稿する二重投稿は認めません。
2. 投稿論文の種類は，「原著・研究報告」「資料・研究ノート」「原著・実践報告」「資料・実践ノート」「展望」です。
3. 執筆にあたっては，詳細は本会ホームページ掲載の「学会誌執筆･投稿マニュアル」に従ってください。用紙の大きさは，A4 版縦置きとし，1 頁は 1,200 字（40 字× 30 行），横書きとします。原則として常用漢字，新かなづかい，数字は算用数字を用いて下さい。
4. 論文の執筆にあたっては，下記の執筆要項に準拠して下さい。

＜原著・実践報告＞＜資料・実践ノート＞

(1) ＜原著・実践報告＞では，高齢者に対する単なるケアの報告ではなく，下記の２つの要件を満たすようにしてください。
①仮説検証型であること，②仮説の設定，仮説の検証等がデータ（質的・量的）等なんらかの根拠に基づいていること。
上記の基準が十分に満たされない場合，＜資料･実践ノート＞ での投稿をおすすめします。

(2) 論文の長さは，原則として英文 abstract を除いて本誌 15 頁までとします（20,000 字以内）。図表分もこの中に含まれますので，その大きさを換算して，全体の制限ページを超えないように注意して下さい。

(3) 論文はできる限り，①はじめに，②事例の概要，③事例の分析，④事例への対応（介入），⑤結果（経過），⑥考察，の各部分から構成されるようにして下さい。

(4) 本誌発行の主旨の１つに「ケア」と「研究」との接点を求めるということがあります。したがって，論文の最後に，「研究へのサジェスチョン」として１つの項を設け，実践を深めるために今後どのような研究を期待するか，本論文から研究へ示唆すること等について言及してください。

(5) 事例については，プライバシー保護のため個人が特定できないようご配慮下さい。

＜原著・研究報告＞＜資料・研究ノート＞

(1) ＜原著・研究報告＞＜資料・研究ノート＞は，高齢者あるいは高齢者に関連した研究の報告をして下さい。よりオリジナリティの高い論文が，原著論文となります。

(2) 論文の長さは，原則として英文 abstract を除いて本誌 15 頁までとします（20,000 字以内）。図表分もこの中に含まれますので，その大きさを換算して，全体の制限ページを越えないように注意して下さい。

(3) 論文はできる限り，①問題②方法③結果④考察の各部分から構成されるようにして下さい。

(4) 本誌発行の主旨の１つに，「ケア」と「研究」との接点を求めるということがあります。したがって，論文の最後に，「実践へのサジェスチョン」として１つの項を設け，本研究が現場，実践，実生活へとどのような点でいかされうるか，示唆しうるかという点について言及して下さい。

＜展望＞

(1) ＜展望＞では，特定の研究主題や分野に関する内外の諸研究を広く検討し，独自の観点から，研究成果の概説と論評，また，研究の現況と課題などの報告をしてください。

(2) 論文の長さは，原則として英文 abstract を除いて本誌 30 頁までとします（40,000 字以内）。図表分もこの中に含まれますので，その大きさを換算して，全体の制限ページを越えないように注意して下さい。

5. 論文の表紙には，＜原著・実践報告＞＜資料・実践ノート＞＜原著・研究報告＞＜資料・研究ノート＞＜展望＞の区別，表題，所属，氏名を記載して下さい。また，それぞれの英文を併記して下さい。
6. 論文の２枚目には，概要を示す 400 字以内の要約とキーワード（5 語以内）を記載してください。また，それぞれの英文（abstract（200words 以内），key words）も併記してください。
7. 引用文献は，本文の終わりに「引用文献」として，著者名のアルファベット順に一括して記載して下さい。記述形式は，雑誌の場合，著者名，発行年度（西暦），論文名，誌名，巻，記載ページの順として下さい。単行本の場合，著者名，発行年度（西暦），書名，出版社名の順で記載して下さい。
8. 謝辞等を記載する場合，別紙として下さい。
9. 原稿は，4 部提出して下さい。e メールの添付ファイルで投稿される場合，原稿の郵送は不要です。

＊詳細については，本会ホームページ掲載の「学会誌執筆・投稿マニュアル」をご参照ください。また，不明の点は，編集事務局までお問い合わせ下さい。

Presented by Medical*Online